

令和 3 年 4 月 13 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
グループ研究 A
校園コード (代表者校園の市費コード)
612300

代表者 校園名 : 大阪市立難波中学校
 校園長名 : 鍋谷 賀都緒
 電 話 : 06-6562-4477
 事務職員名 : 川地 幸子
 申請者 校園名 : 大阪市立難波中学校
 職名・名前 : 主務教諭・平島 陽介
 電 話 : 06-6562-4477

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究 A	研究年数	新規研究 (1年目)
2	研究テーマ	多様な性 (SOGI) と学校課題			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>○ 「SOGI」「アウティング」等、重要かつ認知されているとは言い難い用語・知識の伝達 ○ セクシュアルマイノリティ当事者の困り感や生きづらさへの理解の拡充 ○ 「多様な性」に関する、児童生徒が系統立てて学べる発達に応じたカリキュラムの作成 ○ 研究内容を実践課題に取り入れることによる、教員の資質向上と当事者生徒の安心感の向上 ○ 「SOGIを意識した未来の学校」づくり</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>セクシュアルマイノリティ当事者は平均して1クラスに複数名いる計算になる一方で、トイレや制服を始め、学校現場が「マジョリティを前提とした男女で分けられる場面がほとんどである」ことに起因して、「差別・偏見発言」や「アウティング」等により、セクシュアルマイノリティ当事者がいじめ被害・不登校率・自傷行為率・自殺率全てにおいて突出して高い数値となっている現状がある。これを、「学校課題」ととらえて、研究を進める。</p> <p>① 児童生徒の発達に応じた性教育カリキュラムデザインの検討 保健の教科書を初め、「異性を好きになること」を前提としている現状の視点に対して、上記の「学校課題」に向き合うため、「多様な性」を含む発達に応じた性教育カリキュラムデザインを検討する</p> <p>② 教員向け校内伝達研修会の実施 基礎的な用語や知識を知らない教員への知識の伝達や、実際にセクシュアルマイノリティの児童生徒が目の前にいることを前提とした教職員の言動・行事等の企画への啓発の機会とする。研修会冊子の作成。</p> <p>③ セクシュアルマイノリティ当事者と交流する講演会・出前授業・公開授業の実施 教員による生徒への知識伝達にとどまらず、実際に当事者の声を教員・保護者・生徒のそれぞれが聞く場面を設けて、一体として「学校課題」に向き合う機会とする。 公開テーマ 「多様な性 (SOGI) と学校課題」の公開授業</p> <p>④ 学校現場の課題見直し 制服デザインの変更をはじめとした「マジョリティ視点」の学校課題を、保護者・生徒と学び合う場を通して変更できることは見直し、すべての生徒が過ごしやすい学校になるよう取り組みを進める。</p> <p>⑤ 研究冊子の作成 上記取り組み、カリキュラム、アンケート結果を取りまとめた冊子を作成し、本校教職員・校下小学校教職員・希望する保護者に対して配布する。</p>			

研究コース

グループ研究A

代表校校園コード

612300

代表校園

大阪市立難波中学校

校園長名

鍋谷賀都緒

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>毎月1回以上講師を呼んで研修会実施、理解の段階に応じた校内研修会・講演会・研究授業・研究発表会・意見交流会の開催、系統立てた性教育カリキュラムの作成、実践事例の作成</p> <p>4月 研究テーマの設定、目的・内容・計画の検討、研究会メンバーの知識向上の資料選定</p> <p>5月 教職員（小・中）向けアンケート①作成・実施・分析、4月選定資料の読み込み</p> <p>6月 研究メンバー増員・知識の伝達講習、「SOGIと学校現場の抱える課題」の論点整理 【講師：SAF（性的マイノリティと支援者アライをフラットにつなぐ会）代表】</p> <p>7月 先進的研究校の視察、視察を経て本校で実践できる課題の研究・選定【講師：SAF代表】</p> <p>8月 検討可能な学校課題の立案・実践、制服の変更を検討・計画立案、 校内伝達研修会準備【講師：SAF代表】</p> <p>9月 校内伝達研修会実施【講師：SAF代表】、教職員向けアンケート②実施、 「多様な性」講演会準備</p> <p>10月 「多様な性」講演会（小中教職員・保護者向け）実施 【講師：NPO法人D×P代表他、塩草立葉小教員】</p> <p>11月 保護者向けアンケート実施、出前授業準備、カリキュラムデザインの検討</p> <p>12月 当事者による出前授業（2,3年）実施【講師：NPO法人D×P代表他、塩草立葉小教員】 生徒向けアンケート実施、公開授業指導案作成、カリキュラムデザインの検討 「SOGIと学校課題」公開授業（1年）【講師：NPO法人D×P代表他、塩草立葉小教員】 生徒向けアンケート実施、カリキュラムデザインの検討</p> <p>1月 「研究発表会・兼・PTAと生徒の意見交流会」準備、研究成果の冊子作成</p> <p>2月 「研究発表会・兼・PTAと生徒の意見交流会」実施、制服変更へ向けた業者プレゼン準備 【講師：SAF代表】</p> <p>研究成果の冊子配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアルマイノリティ当事者の抱える各種データの提示 ・教職員・保護者・生徒への実施アンケートの結果提示 ・先進校の取り組み事例紹介 ・本校が変えるべき学校課題（制服の変更、その他）の提示 ・性教育カリキュラムデザインの提示と次年度からの実践
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上および教員の資質や指導力の向上について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 校内教職員向け研修会を実施することで、教職員の生徒への声掛けの仕方や案の出し方が変わることが期待される。セクシュアルマイノリティ当事者の生徒がいる場合にも、教職員側からの安心感のある行事や取り組みの案となる。結果として全生徒にとって過ごしやすい学校づくりにつながる。</p> <p>《検証方法》 生徒の安心感を確認するアンケートは生徒自身の「カミングアウト」になるため、実施できない。 5月当初に実施する教職員向けアンケートから、9月校内研修会実施後のアンケートの同一回答部分に関して、教職員の肯定的な回答が上昇し、80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】 セクシュアルマイノリティ当事者による講演会を校下小学校・中学校・中学校保護者向けに実施することにより、大人が知識の定着、当事者の困り感や学校課題について知ることができる。</p> <p>《検証方法》 講演会後に実施する保護者向けアンケートにより、SOGIと学校課題に関する各項目について、肯定的な回答を80%以上にする。</p>
		<p>【見込まれる成果3】 制服デザインの変更をはじめ、学校におけるセクシュアルマイノリティーに配慮した取り組み案を職員会議にはかり、随時可能なことは変更していく。今年度中に変更せず、次年度以降に検討する案も振り分けて検討する。</p> <p>《検証方法》 生徒議会や各種委員会、生徒の意見箱や毎週実施の「週末アンケート」等で、取組変更後の生徒からの感想を集約し、肯定的な回答を集めるとともに、新たな課題が見えてくれば次年度以降再検討案として継続協議につなげる。</p>

研究コース

グループ研究A

代表校校園コード

612300

代表校園

大阪市立難波中学校

校園長名

鍋谷 賀都緒

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 公開授業を含めた、セクシュアルマイノリティ当事者を交えた研究授業を行うことで、生徒が自ら、「SOGIと学校課題」について知識を深め、セクシュアルマイノリティ当事者が当たり前に身の回りにいることへの理解、言動の変化が現れる。</p> <p>『検証方法』 研究授業後に生徒向けアンケート・感想文を実施し、生徒の心の変化をとらえる。また、その結果を2月の研究発表用の冊子に記載する。</p> <p>【見込まれる成果5】 性教育カリキュラムを新たに作成することにより、次年度以降、校下小学校とも連携を図りながら、児童生徒の発達に応じた性教育の知識の獲得、意識の変化が現れる。</p> <p>『検証方法』 次年度以降、カリキュラムに沿った授業等の取り組みを実施し、事後の振り返りアンケートなどで、生徒の心の変化をとらえる。</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日（令和4年2月25日）までに必ず行ってください。</u></p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="414 979 1061 1051"><tr><td>日程</td><td>令和 3 年 12 月 16 日</td><td>場所</td><td>難波中学校</td></tr></table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 3 年 12 月 16 日	場所	難波中学校
日程	令和 3 年 12 月 16 日	場所	難波中学校			
8	代表校園長のコメント	昨年度も学校が受け止めた学校の課題の一つとして、「誰もが過ごしやすい学校づくり」を目指し、本校教職員が「多様な性（SOGI）と学校課題」をテーマに取り組みます。				